令和元年度 佐那河内小学校・中学校学校評価アンケート（保護者対象）について

１　小学校

本年度も，全教職員で「思考力・表現力を高める授業づくり」「主体的に学習する力を伸ばす手立ての工夫」を目指し，「特色」と「魅力」ある小中一貫教育校として９年間を見通した教育活動に取り組んできました。小中合同研修会の充実や小中相互の授業を参観することで研究を深めてきました。また，朝の読書活動や週末読書の継続，生活科や総合的な学習の時間におけるふるさと学習の充実を図ってきた成果が，各学年の表現力向上にあらわれています。

アンケート結果は，１９項目すべてで８０％以上の肯定的な評価をいただきました。特に「安全教育や避難訓練を実施し，児童の安全に積極的に取り組んでいる」については，昨年度に引き続き９５％という高い評価をいただきました。また，「道徳の時間や体験的な活動を重視して，豊かな心をもった児童を育てようとしている」については，９５％という高い評価をいただきました。今後も，児童が安全・安心に過ごすことができる環境づくりに努めるとともに，授業の充実，行事や体験的な活動を通して，豊かな心をもった児童を育ててまいりたいと思います。

その一方で，「教育目標や教育方針をホームページ等で分かりやすく伝えている」は８０％，「施設や授業・行事の公開，情報の提供など，開かれた学校づくりのための努力をしている」は８６％と，ともに昨年度と比べると肯定的な評価が１０ポイント下降し，改善が進んでいない結果となりました。今後も，教育目標や教育方針，授業や行事のホームページへの掲載等，さまざまな方法で学校での活動の様子をお知らせするなどの工夫をしていくことで，地域に根ざした信頼される学校づくりを進めていきたいと思います。

来年度も，小中一貫教育校として進めてきた取組に改善を加えたり，新たな取組を加えたりしながら，９年間を通した系統的なつながりをさらに構築できるよう，全教職員で努めてまいりたいと思います。

２　中学校

昨年度より「特色」と「魅力」ある小中一貫教育校としてふるさと学習と英語教育を二本柱とし，９年間を通してすべての児童生徒を育てることをめざしています。

１月には中学２年生がふるさと学習のまとめとして「子ども議会」を開催し，その時いただいた答弁に対して提案書を作成し村の関係者のみなさんにお配りしました。

英語教育ではスカイプを利用した海外居住者との双方向でのやりとりや文通を行うことにより，英語に対する興味関心を高め，実践的な力の定着を目指しました。英語検定に４１名が受検し，２級合格者も出るなど生徒の意欲が向上しています。

今回の保護者の皆様へのアンケート結果としては，２１項目中１３項目で８０％を超える肯定的な意見をいただきました。「安全教育や避難訓練を実施し，生徒の安全に積極的に取り組んでいる」という項目では，昨年に引き続き非常に高い評価をいただくことができました。今後も様々な災害を想定した訓練を実施することで，保護者の皆様にご理解いただけるように取り組んでいきたいと思います。「生徒が快適に生活したり学習したりできる環境づくり取り組んでいる」「特色ある教育活動を行うために，学校行事や『総合的な学習の時間』に創意工夫している」という項目では，共に約９２％の保護者の方から肯定的な意見をいただきました。昨年３月に全ての教室に新しい電子黒板が配備され，今年度はそれを使用した授業が実施されたことや，総合的な学習の時間における中学２年生の取組（子ども議会の開催）が高い評価につながったと思います。次年度からはタブレット端末を使った授業も予定しており，益々学習環境が向上すると思われます。

「部活動を適切に運営している」という項目では，昨年に比べ割合が減少する結果となりました。県教育委員会が昨年１１月に策定した「とくしまの学校における働き方改革プラン」にある「部活動の適正化」を参考に，限られた時間のなかで生徒に対して効果的な指導を行うことができるよう，質的な転換を目指します。

保護者の皆様のご期待に応えるために，来年度も全教職員で共通理解を図り対応してまいります。

３　学校関係者評価委員会（小中合同）での意見

○コミュニティスクールが話題となっているが，本校では現状において学校と地域とのつながりは十分に構築されていると感じる。

○中学校の部活動については教員の負担軽減を図るために外部コーチ等地域の人材を積極的に活用してはどうか。

４　おわりに

この評価結果及び皆様からいただきましたご意見を，次年度の学校運営につなげていきたいと考えています。今後とも，本校の教育活動に対しましてご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。